

九州及び本島中部以南に産するものにして只一の例外は *Pristomyrmex japonicus* の北海道に及ぶなら。而して *Pristomyrmex japonicus* sp. は北米的色彩ある者なら。
ロ・南部照綱亞に產し、九州以北にも現ばるゝ者には、
Lobopelta chinensis, *Strumigenys godeffroyi lewisi*, *Polyrhachis lundellidens*, *Cauponotus rothneyi* の四種あり、其の北界は前者を略同じて本島中部に及ぶ。
ハ・臺灣に於ける各種及び新種には *Pheidole sauteri*, *Cremastogaster sublunata formosana*, *Plagiolepis mutabilis*, *Cauponotus taylori formosana* なり此等は次の者と共に印度、馬來區系種の記述の向ふ者なり。

ニ・南部亞細亞より臺灣に涉って普通の種には *Diacammus rugosum sculptum*, *Pheidole javana*, *Pheidole megacephala*, *Monomorium latinode*, *M. destructor*, *Cremastogaster rugosifera*, *Triglyphophotrix strioticleus*, *Iridomyrmex glaber*, *Tapinoma melanocephalum*, *Plagiolepis longipes*, *Prenolepis dives*, *P. latona*, 等ある、是は純然たる印度、馬來系種なり。

以上記述する所によりて是を見るに日本版圖には南北より舊北州及び印度馬來區の兩系種の蟻類入り來り、南北兩端に於ては大陸と密接なる關係を有し、同種若しくは非常に近き形種によつて聯結せらる、其の内或者は中

央部に及ぶる所なくとも、中央部の蟻類を形成する主要の者は特立の種にして、其の南北兩系の何れかに近縁を有する者なり、南北及中央部の區分は明かならざるもの樺太北海道及び本島中央山脈以北は北部とし本島中部以南九州に至る者を中央部に琉球以南を南部となす事は正當なるに近からん。

中部產種の内新北州の形態を帶びる者あるは明かにして *Strumigenys* sp. の如きは舊北州并に印度馬來區に近似の種を見ず反つて北米所產の種に近縁を見出す者なり若し夫れ九州と臺灣との連鎖たる琉球列島を明かにするを得ば興味ある可く又對馬によりて朝鮮附近の大陸との關係を明かにするも重要な事なる可し然るに不幸にして北支那滿洲朝鮮の蟻類に就ては僅々一二種の記録あるに過ぎず琉球にありては亦全く知られず、只渡瀬教授一行の琉球に福田氏の大島徳之島に于ける薩南に得たる標本は此の間の關係を明かにするを得べく追て是を公にするの機ある可し。

(附記) 本邦產蟻類中予の見ざる者甚だ多く普通の種にありても分布區域不明瞭の者多く若し讀者諸君に之て蟻類標本を得らるゝの機あらば願ほくは左記宛を以て惠送の榮を得ん事を、學名は直接御通知致す可し。

(東京府下日黒山林局林業試驗所内 矢野宗幹)